

Amersham ECL Semidry Blotters



日本語簡易マニュアル

パワーサプライ内蔵型セミドライ式ブロッティング装置

TE 70 PWR Semi-dry Transfer Unit

TE 77 PWR Semi-dry Transfer Unit

セミドライ式ブロッティング装置

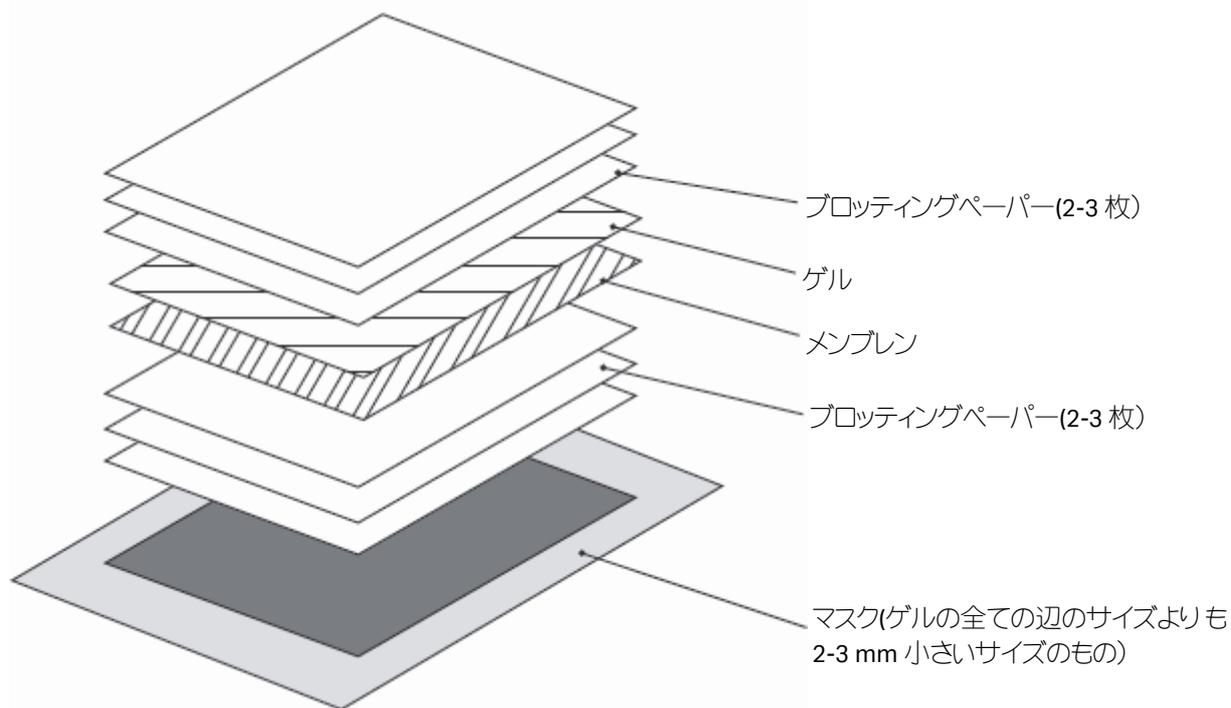
TE 70 Semi-Dry Transfer Unit

TE 77 Semi-Dry Transfer Unit

パワーサプライ内蔵型セミドライ式プロットイング装置 TE 70/77 PWR Semi-dry transfer unit

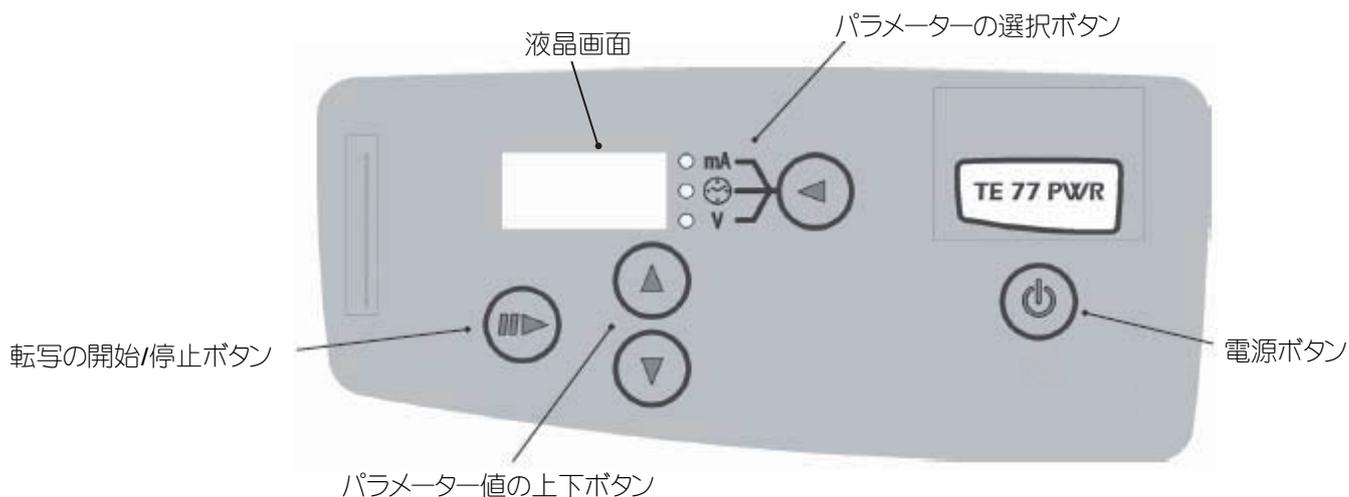
1. 転写前の準備

ゲル、メンブレン、プロットイングペーパー、マスクをTE 70/77 PWR内にセッティングします(下図)。



2. 電源を入れます

本体左側面に電源コードを接続し、本体前面のキーパッドの  ボタンを押して、電源を入れます。



3. パラメーターの入力

 ボタンを押して、パラメーターを選び、電流値(mA)と時間  (hour:min)を入力します。

パラメーター値の上げ下げは、 と  のボタンで行います。

電流値は 1 mA ごとに 1~500 mA まで、時間は 5 分ごとに 0:05~4:00 まで、入力できますが、定電流で転写を行うため、電圧値(V)は入力できません。(OFF と表示されます)。

電流値は 0.8 mA/cm²ゲルを目安にします。通常は 1 時間以内に転写を終了しますが、高分子のタンパク質の場合には時間の延長が必要です。

4. 転写の開始

 ボタンを押して、転写を開始します。

転写が始まると、液晶画面に実測値が表示されます。

転写中は、液晶画面の右下に赤いランプが点灯します(下図)。

転写中に電流値や時間を変更したい場合には、 ボタンを押して下さい。

電流または時間を選択すると、右下の赤いランプが10秒間点滅します。ランプが点滅している間に入力して下さい。



赤いランプ

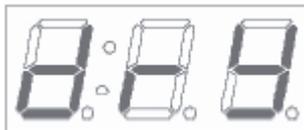
※ 転写中のエラーメッセージについて

転写中にバッファが不足すると、液晶画面に「dry」と表示され(下図)、転写が自動的に停止します。

この現象が見られた場合には、本体のカバーを取り外し、セットしたろ紙をトランスファーバッファで湿らせて下さい。

セッティングが終わったら、カバーを再度装着して、 ボタン以外のいずれかのボタンを押して、転写を再開してください。

なお、バッファが不足すると、転写効率の低下やタンパク質抗原の力価の低下を引き起こす可能性があります。



5. 転写の終了

転写が終了すると、5秒間ブザーが鳴ります。

液晶画面に、設定した電流値、設定した時間、転写が終了した時点での電圧値が点滅状態で表示されます。

 ボタン以外のいずれかのボタンを押すことで、この点滅は解除されます。

6. メンテナンス

転写終了後は、 ボタンを押して電源を消した後、メンブレン、ゲル、プロットングペーパーを取り出します。

MilliQ水で湿らせたキムタオルで本体の電極部分を軽く拭き、バッファ成分を拭き取ります。

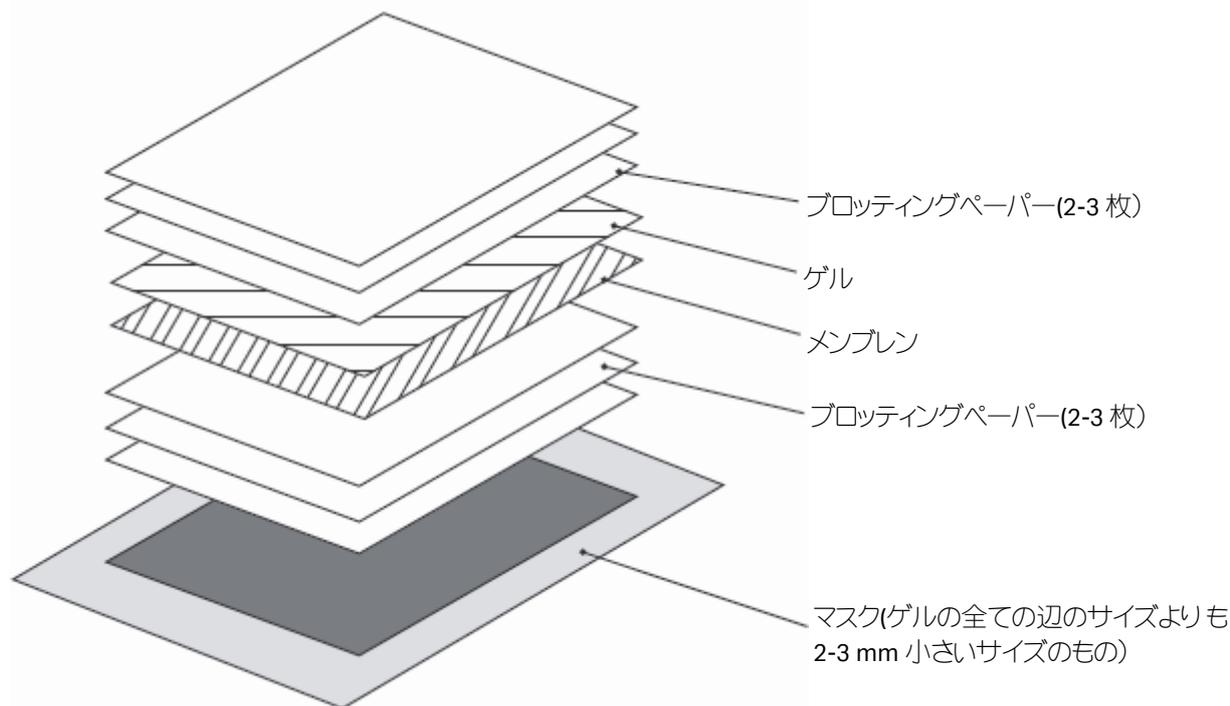
常温で完全に乾燥させた後、本体を片づけます。

セミドライ式プロットイング装置

TE 70/77 Semi-dry transfer unit

1. 転写前の準備

ゲル、メンブレン、プロットイングペーパー、マスクをTE 70/77 内にセッティングします(下図)。



2. プロットイングの実行

- 1) パワーサプライの電圧値を30 Vに設定します。
- 2) 電極コードをパワーサプライにつなぎます。(赤:陽極、黒:陰極)
- 3) ゲルサイズに対し、0.8 mA/cm²に電流値を設定します。
- 4) プロットイングを開始します。(通常、1時間以内に終了しますが、高分子タンパク質やNative状態のタンパク質を転写する場合には時間を延長したほうが転写効率が上がります。ただし、2時間以内に終了してください。)
注意:プロットイング中、電圧値が以下のような場合、サンプルやユニットにダメージを受けることがあります。
(ア) 電圧が20 V以上になる:イオン強度が不適當→バッファー濃度を確認してください。
(イ) 電圧が10 V以上変動する:バッファー不足→トランスファーバッファーに浸したプロットイングペーパーを増やしてください。
(ウ) カバーの温度が上がった場合にもトランスファーバッファーに浸したプロットイングペーパーを増やしてください。

3. プロットイング終了後

- 1) 転写終了後は、パワーサプライのスイッチを切り、電極コードをぬきます。
- 2) カバーから出ている電極コードをベースから抜き、カバーをはずします。
- 3) メンブレン、ゲル、プロットイングペーパーを取り出します。
MilliQ水で湿らせたキムタオルで本体の電極部分を軽く拭い、バッファー成分を拭き取ります。
常温で完全に乾燥させた後、本体を片づけます。セーフティーインターロック部と電極コードはぬらさないでください。

安全上のご注意

必ずお守りください

このしおりには、弊社機器に関する一般的な注意事項を記載しています。取扱いの詳細は必ず製品添付の使用説明書をご覧ください。

誤った取扱いをした場合に生じる危険や損害の程度を、次の区分で説明しています。



警告

誤った取扱いをした場合に、死亡や重傷を負う可能性があります。



注意

誤った取扱いをした場合に、傷害または物的損害が発生する可能性があるもの。



警告



禁止

電源プラグの抜き差しにより、
運転を停止しない

火災・感電の原因になります。



禁止

電源コード・電源プラグを
傷つけない

- 加工しない
- 束ねない
- ねじらない
- 折らない
- 物をのせない
- 加熱しない
- 無理に曲げない

破損して火災・感電の原因になります。



根元まで
差込む

電源プラグのほこりを取り除き、
刃の根元まで確実に差込む

接続が不十分だと、隙間にほこりが付着して火災・感電の原因になります。



禁止

本体を水につけたり、
水をかけたりしない



ショート・感電の原因になります。



禁止

使用時や使用直後（運転停止後約
60分間）は、操作に関係のない
部位には触れない

高温部に触れ、やけどの原因になります。



禁止

同梱の電源コード・電源プラグ以外
のコード・プラグを使用しない

故障・火災・感電の原因になります。



禁止

⊘ は、してはいけない「禁止」を示します。



ⓘ は、必ず実行していただく「強制」を示します。



禁止

電源コードを途中で接続しない、
タコ足配線をしない

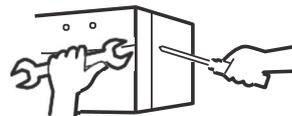
火災・感電・故障の原因になります。



禁止

修理・分解・改造はしない

火災・感電の原因になります。



指定の規格

取扱説明書に指定された規格の
コンセントを使用する

指定された規格以外で使用すると
火災・感電の原因になります。



禁止

電源コードや電源プラグが傷んだり、
コンセントの差し込みがゆるいときは使わない

感電・ショート・発火の原因になります。



プラグを抜く

異常時は、運転を停止して電源プラグを抜く

異常のまま運転を続けると火災・感電の原因になります。



禁止

同梱の電源コード・電源プラグを
他の電気機器に使用しない

故障・火災・感電の原因になります。

⚠️ 注意

設置時は、次のような場所には置かない



禁止

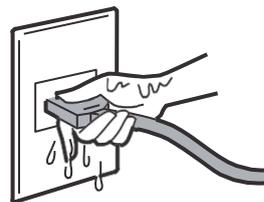
- 不安定な場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 油煙や湯気が当たる場所
- 直射日光の当たる場所
- 風雨のあたる場所
- 熱器具の近く
- 高温になる場所
- 吸・排気口をふさぐような場所

このような場所に置くと、ショートや発熱、電源コードの被膜が溶けるなどして、火災や感電、故障、変形の原因になることがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



禁止



感電の原因になります。



水平

水平で丈夫な場所に設置する



プラグを持つ

電源プラグを持ってまっすぐ引き抜く

ななめに引き抜いたり、コードを持って抜くと、プラグの刃や芯線が破損してショート・感電・発火の原因になります。

⚠️ 低温室で使用する場合の注意



電源を入れておく

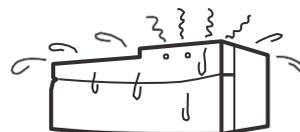
装置を低温環境下でご使用になる場合、システム電源は常時入れておく

低温環境下で長時間システムの電源を落とした状態で放置すると、結露などにより故障の原因になります。ランプなどの消耗品は OFF にしておくと、劣化を防ぐことができます。



電源を入れない

装置を低温室から常温の場所に移動させる場合、常温に設置後、装置内の結露が無くなるまでシステム電源を入れない（状況により異なるが、通常半日から一昼夜）



感電・漏電火災の原因になります。

弊社製品についてのお問合せ（バイオダイレクトライン）

TEL : 03-5331-9336

受付時間 9:00 ~ 17:30

土・日・祝日、弊社指定休業日、年末年始を除く

総合お問合せ窓口

TEL : 03-5331-9336

(営業日の 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:30)

機器アフターサービス (音声案内にしたがい①を選択)

FAX : 03-5331-9349 (常時受付)

製品技術情報に関して (音声案内にしたがい②を選択)

e-mail : Tech-JP@cytiva.com (常時受付)

納期/在庫に関して (音声案内にしたがい③を選択)

注) お問合せに際してお客さまよりいただいた情報は、お客さまへの回答、弊社サービスの向上、弊社からのご連絡のために利用させていただく場合があります。

www.cytivalifesciences.co.jp

論文に掲載いただく際の名称・所在地

Cytiva

Tokyo, Japan

掲載されている内容および価格は2021年5月現在のものです。価格は希望小売価格(消費税は含まれておりません)であり、単なる参考価格のため、弊社販売代理店が自主的に設定する販売価格を何ら拘束するものではありません。掲載されている製品は試験研究用以外には使用しないでください。掲載されている内容は予告なく変更される場合がありますのであらかじめご了承ください。掲載されている社名や製品名は、各社の商標または登録商標です。お問合せに際してお客さまよりいただいた情報は、お客さまへの回答、弊社サービスの向上、弊社からのご連絡のために利用させていただく場合があります。

Cytiva(サイティバ)

グローバルライフサイエンステクノロジーズジャパン株式会社
〒169-0073

東京都新宿区百人町3-25-1 サンケンビルヂング

お問合せ: バイオダイレクトライン

TEL : 03-5331-9336

e-mail : Tech-JP@cytiva.com



www.cytivalifesciences.co.jp

71-3702-32